

- 1 実施クラス 第3学年
- 2 題材名 『子どもの成長』
- 3 題材について

○ 題材観

今日の科学技術の進歩による物質的な豊かさと便利さ、また家族の形の多様化や少子化の進行とともに家庭生活も変化している。それにともない、中学生が幼児とかかわる機会はきわめて乏しくなっている。こうした状況にある中学生が異世代である幼児への理解と関心を高め、思いやりと温かな心をはぐくみ、人間の成長、発達とそれにかかわる家庭や社会を認識することは非常に意義深いことである。

中学校学習指導要領解説技術・家庭編には、改善の基本方針の一つとして、「男女共同参画社会の推進、少子高齢化等への対応を考慮し、家庭の在り方や家族の人間関係、子育ての意義などの内容を一層充実する。」ことが示されており、本題材の重要性がうかがえる。

本題材は、学習指導要領に示される内容B（2）「幼児の発達と家族」とB（5）「幼児の生活と幼児との触れ合い」のアとの関連を図って計画した題材である。自己の成長、発達を振り返りながら学習を進めていくことで、幼児への理解を深め、さらには家族と自分とのかかわりを見つめることができるとともに、次題材の「保育所に行こう」に深くつながる内容であり、中学校における家庭科学習のまとめとしての役割を果たす題材である。

○ 生徒観

全体的に意欲的に取り組む生徒が多く、家庭科の授業については約90%の生徒が「おもしろい」と興味を示している。しかし、過去三年間の観点別学習状況の評価から「生活を工夫し創造する能力」の観点について見てみると、1年次より2年次の方が伸びているものの、他の観点と比較すると2～3ポイントの差があり、定着状況には課題が残る状況である。また、生徒の生活体験が少ないこともあり、「生活を工夫し創造する」ことにおいては「不得意である」、「何をしたらいいかわからない」という生徒もいることや、自らの生活環境を肯定的にとらえ満足している生徒が多いことから、生活の中から課題を発見しにくいという生徒の実態がある。したがって、生活の課題に対して、工夫し創造する機会は少ない状況にあるといえる。さらに、「幼児」から連想する言葉の数は少なく、幼児に関する学習内容を「自分とのかかわり」という視点で見つめることができる生徒は少ない。

○ 指導観

指導にあたっては、「生活を工夫し創造する能力」を育成することを目指し、まず、題材全体を通して問題解決的な学習の流れを設定する。その上で小題材や1時間の授業の中にも一連の学習過程を取り入れた指導計画を作成し、遊び道具の製作を通して学習したことや生徒の経験を生かして、工夫したり創造したりすることに繰り返し取り組ませるようにする。また、題材全体を通して、生徒の思考過程を重視し、生徒自身が自分の変容を見つめることができるよう、ワークシートを工夫するとともに一枚ポートフォリオの形式を取り入れる。

次に、生徒が的確に課題を発見したり、それぞれの工夫や創造について互いに評価しあったりできるようにするため、ペア学習や多様な意見を交流できるグループ学習など、学習の形態を工夫する。

さらに、幼児との触れ合い体験が少ないという生徒実態をふまえ、課題発見の場面などで写真やビデオなどによる視聴覚教材を活用したり、先輩の製作した遊び道具を紹介したりするなど、生徒の幼児に対する関心や学習意欲を高めるための工夫を行う。

これらの工夫により、本題材では、生徒が工夫し創造する楽しさや喜びを実感したり、生活の場での工夫・創造へ発展させる意欲を高めたりできるよう指導していきたい。また、学び方を学ぶことを重視する問題解決的な学習やロールプレイングなどの事例研究的な学習の展開を工夫することで、生徒が次題材である「保育所に行こう」につながる新たな課題を発見でき、さらには学習した事を生活の場で活用することができるよう指導していきたい。

4 題材の目標

- 幼児の観察や遊び道具の製作を通して、幼児の遊びの意義について考える。
【学習指導要領の内容B（2）ア】
- 幼児の心身の発達の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について考える。
【学習指導要領の内容B（2）イ】
- 幼児の生活に関心を持ち、課題をもって幼児の生活に役立つものを製作することができる。
【学習指導要領の内容B（5）ア】

5 題材の評価規準

ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し 創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術に ついての知識・理解
① 幼児に関心を持ち、 幼児の遊びや幼児の 発達と家族とのかかわ りについて考えよ うとしている。 ② 幼児の生活につ いて関心を持ち、主体的 に学習活動に取り組 もうとしている。	① 幼児の遊びや幼児の 発達と家族とのかかわ りについて課題を見付 け、その解決を目指して 工夫している。 ② 幼児の生活について 課題を見付け、その解決 を目指して自分なりに 工夫したり新たな方法 を考えたりしている。	① 幼児の遊びや幼児 の発達と家族とのか かわりについて、観 察したり調査したり することができる。 ② 幼児の生活に役立 つものの製作ができ る。	① 幼児の遊びや幼児の 発達と家族とのかかわ りに関する基礎的な知 識を身に付けている。 ② 幼児について理解を 深めるとともに、幼児の 生活に役立つものの製 作に関する基礎的な知 識を身に付けている。

6 指導と評価の計画 (全11時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					評価方法
		関	工	技	知	評価規準	
I 幼児の遊び (4)	1 子どもは遊びの中で育つ (1) 【本時①】	◎			○	エ① 子どもにとっての遊びの意義について理解している。 ア① 幼児に関心をもち、ロールプレイングや遊び道具の製作に取り組んでいる。	一枚ポトフォリオ 観察・製作品 ワークシート
	2 遊びと発達について考えよう (2) 【本時②】	○		○		ア① 幼児に関心をもち、幼児の観察に取り組んでいる。 ウ① 幼児の遊びの観察・調査ができる。 イ① 幼児の遊びや遊び道具、遊びと発達とのかかわりについて考えている。	観察 ワークシート ワークシート 観察 一枚ポトフォリオ
	3 遊びを支える (2) 【本時③】 1/2 【本時④】 2/2	○	◎		○	エ② 遊び道具の製作に関する基礎的な知識を身に付けている。 イ① 幼児の発達に応じた遊び方について考え、工夫している。 ア② 幼児の生活に役立つものの製作に関心をもって取り組み、学んだ知識と技術を活用しようとしている。 イ② 幼児の生活に役立つものの製作について課題をもち、自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。	ワークシート 一枚ポトフォリオ ワークシート 一枚ポトフォリオ
II 幼児の成長について考えよう (5)	1 幼児の成長について考えよう (3) 【本時⑤】 1/3 【本時⑥】 2/3 【本時⑦】 3/3			◎	◎	ウ① 調査したことをまとめたり、工夫して発表したりすることができる。 エ① 幼児の心身の発達の概要を理解している。 【身体の発育,運動機能,言語・情緒・社会性】	観察・作成原稿 ワークシート 一枚ポトフォリオ
	2 幼児の生活習慣について考えよう (1) 【本時⑧】		◎		○	エ① 基本的な生活習慣の形成の重要性について理解している。 イ② 幼児の生活に役立つものの製作について課題をもち、自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。	ワークシート 一枚ポトフォリオ
	3 幼児の生活に役立つ遊び道具を製作しよう (1) 【本時⑨】		◎	○		ウ② 遊び道具の製作ができる。(※本時④での宿題) イ① 幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫している。	製作品(宿題) 観察 ポトフォリオ 一枚ポトフォリオ
III 子どもと家族や周囲の人々 (2)	1 子どもと家族とのかかわりについて考えよう (1) 【本時⑩】	○			◎	ア① 子どもの発達を支える家族の役割について考えようとしている。 エ① 子どもの発達を支える家族の役割について理解している。 【子どもの保護・情緒の安定・社会化】	観察 ワークシート 一枚ポトフォリオ
	2 子どもの成長を支えあう (1) 【本時⑪】	○	◎			ア① 子どもが育つ環境としての家族や周囲の人々の役割について考えようとしている。 ア② 幼児の生活についての関心をもち、課題を見付けようとしている。	観察 ワークシート ワークシート

7 本時の展開【本時①】

(1) 本時の目標

- ・ 子どもにとっての遊びの意義について理解する。
- ・ 幼児に関心をもって遊び道具の製作をすることができる。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 子どもにとっての遊びの意義について理解している。(エ①)
- ・ 幼児に関心をもち、ロールプレイングや遊び道具の製作に取り組んでいる。(ア①)

(3) 準備物

ワークシート、幼児の写真、お面、カード、折り紙、牛乳パック、作業用手袋、葉っぱ、ビニール袋、紙コップ、輪ゴム、セロハンテープ、のり、色鉛筆、はさみ、一枚ポートフォリオ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導入 3	1 「私の成長」(レポート)について想起する。	◇ 「遊び」にかかわるような感想を取り上げ、前時を想起させる。		
展 開	2 「幼児を預かって」と頼まれたらどうするか考える。 遊ぶ, 断るなど	◇ 幼児の写真を掲示し、場面の設定についてイメージさせる。 ◇ 自由に発言させる。	◎ 幼児に関心をもち、ロールプレイングに取り組んでいる。(関)	観察 ワークシート
	3 幼児を預かると想定しロールプレイングする。 ・ 幼児になりきる。(幼児役) ・ どんなことを考えたか記録する。(中学生役)	◇ 幼児, 中学生になりきるよう指導する。 ◆ 台詞を参考にしてロールプレイングを始めさせる。		
	4 自分の考えを発表する。	◇ 「遊び」を想定した生徒が多いことに気付かせる。		
	5 本時の課題を知る。			
	本時の課題 : 子どもは遊びの中で育つ ～子どもは何のために遊ぶのだろう?～			
35	6 子どもにとっての遊びの意義について考える。 ・ 意見をカードに記入する。 ・ 意見を発表し合う。	◇ できるだけたくさんの意見を記入させる。	○ 子どもにとっての遊びの意義について理解している。(知)	一枚ポートフォリオ
	7 遊びの意義についてまとめる。 生活の中心を占める 人やものとかかわる 様々な能力を発達させる 社会のルールを身に付ける 思いやり・表現力が育つ 人間としての土台づくり	◇ 板書のキーワードを参考に遊びの意義についてまとめさせる。 ◆ 教科書を参考に遊びの意義について考えさせる。		
まとめ 12	8 幼児と遊ぶための、簡単な遊び道具をつくる。	◇ 設定された材料を活用して、簡単な遊び道具を製作させる。 ◆ 遊び道具の作り方を参考にし作らせる。	◎ 幼児に関心をもち、遊び道具の製作に取り組んでいる。(関)	製作品

9 本時の展開【本時②】

(1) 本時の目標

- ・ 幼児の遊びの観察・調査ができる。
- ・ 幼児の遊びと発達とのかかわりについて考える。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 幼児に関心を持ち、幼児の観察に取り組んでいる。(ア①)
- ・ 幼児の遊びの観察・調査ができる。(ウ①)
- ・ 幼児の遊びや遊び道具、遊びと発達とのかかわりについて考えている。(イ①)

(3) 準備物 ワークシート、製作した遊び道具、ビデオ「遊びと発達」(開隆堂)、イラストカード、一枚ポートフォリオ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導入 7	1 製作した遊び道具は、何歳ぐらいの幼児に適しているか考える。	◇ 前時の製作物を紹介する。 ◇ 自分の遊び道具について、対象年齢を設定させ、理由も述べさせる。		
	2 本時の課題を知る。	本時の課題：遊びと発達について考えよう ～幼児はいつごろどんな遊びをするだろうか～		
展開 35	3 幼児の遊びと発達について考える。 ・イラストカードを並べる。	◇ イラストカードを発達段階順に並べさせ、その理由を考えさせる。 ◆ ペアで相談し、自分なりの意見をもたせる。	○ 幼児に関心を持ち、幼児の観察に取り組んでいる。(関) ○ 幼児の遊びの観察・調査ができる。(技)	観察 ワークシート
	4 幼児の遊びの様子を観察する。(ビデオ視聴) ・わかったことをキーワードでまとめる。 ・意見を発表する。	◇ 解説なしで、メモをとりながら視聴させる。 ◆ 再度、視聴させキーワードを考えさせる。		
	5 遊びと発達についてまとめる。(ビデオ視聴) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 大人と遊ぶ(1歳ごろ) → 一人で遊ぶ → 友だちのそばで遊ぶ → 友だちと遊ぶ(3歳ごろ) → 集団でルールを決めて遊ぶ(5歳ごろ) </div>	◇ 解説入りのビデオを視聴させ、キーワードを発見させるとともに、順序を考えて並べさせる。 ◆ グループで相談しキーワードを正しく並べさせる。		
35	6 製作した遊び道具を活用した遊びについて考える。	◇ 製作した遊び道具を活用し、どんな遊びをしたらよいか考えさせる。 ◆ 板書やワークシートを参考に場所や対象を決めて考えさせる。	◎ 幼児の遊びや遊び道具、遊びと発達とのかかわりについて考えている。(工)	一枚ポートフォリオ
まとめ 8	7 学習のまとめをする。	◇ 学習を終えての感想、もっと知りたいこと、疑問に思ったことなどを一枚ポートフォリオにまとめさせる。		

9 本時の展開【本時③】

- (1) 本時の目標
 - ・ 遊びの種類や遊び道具の役割を知り、幼児の遊び道具や遊び方について考える。
- (2) 本時の観点別評価規準
 - ・ 遊び道具の製作に関する基礎的な知識を身に付けている。(エ②)
 - ・ 幼児の発達に応じた遊び方について考え、工夫している。(イ①)
- (3) 準備物 ワークシート、幼児のころの写真、発表シナリオ、一枚ポートフォリオ
- (4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導 入 10	1 幼児期のころの遊びについて想起し、発表する。	◇ 発言した内容を分類しながら、板書する。		
	2 本時の課題を知る。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時の課題：遊びを支える ～遊びの種類や遊び道具の役割を考えよう～</p> </div>			
	3 遊びの種類について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 道具を使った遊び 自然を活用した遊び 体やことばを使った遊び </div>	◇ 分類された遊び(板書)を参考に考える。 ◆ 何を使って遊ぶのか考えさせる。		
展 開 32	4 3の遊びの特徴(いい所)について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 自然に親しむ 心が育つ 運動機能が発達する 道具を使う </div>	◇ グループで意見を出し合い、まとめさせる。 ◆ 板書の具体的な遊びを参考に考えさせる。 ◇ 遊びには、遊び道具や身体、ことばが使われていることに気付かせる。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>遊び道具はどんな役割をしているだろうか。</p> </div>			
	5 遊びと遊び道具のかかわりについて知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 遊ぶ気になる 活動を持続させる 遊びを工夫できる </div>	◇ 遊び道具を使わない遊びと比較して考えさせながら、グループ内で意見を出し合う。 ◆ 自分のお気に入りの遊び道具を参考にして考えさせる。	○ 遊び道具の製作に関する基礎的な知識を身に付けている。(知)	ワークシート
	6 遊び方の工夫をする。	◇ 製作した遊び道具を活用した遊び方について考えさせる。 ◆ 板書の遊び道具の役割を参考に工夫させる。	◎ 幼児の発達に応じた遊び方について考え、工夫している。(工)	一枚ポートフォリオ
ま と め 8	7 遊び方を紹介する。	◇ 工夫した遊び方についてグループ内で発表させる。 ◆ シナリオを参考に発表させる。		

9 本時の展開【本時④】

(1) 本時の目標

- ・ 幼児の生活に役立つものの製作に関心をもって取り組み、課題をもって工夫することができる。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 幼児の生活に役立つものの製作に関心をもって取り組み、学んだ知識と技術を活用しようとしている。
(ア②)
- ・ 幼児の生活に役立つものの製作について課題をもち、自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。(イ②)

(3) 準備物

ワークシート、市販の遊び道具、手づくり遊び道具(先輩の製作品)、一枚ポートフォリオ、はさみ、のり、セロハンテープ、折り紙、付箋紙、ホワイトボード

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導入 5	1 前時を想起する。	◇ 前時に考えた遊び方を紹介する。		
	2 本時の課題を知る。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 本時の課題： 幼児の生活に役立つ遊び道具をつくろう ～遊び道具のどんな工夫が幼児の生活に役立つだろうか～ </div>				
展開 38	3 遊び道具のいいところを考える。	◇ 「遊びの意味」や遊び道具の役割を想起させ、手づくりや市販の遊び道具を配付し、いいところを考えさせる。 ◆ 前時の板書プリントを参考に考えさせる。	○ 幼児の生活に役立つものの製作に関心をもって取り組み、学んだ知識と技術を活用しようとしている。(関)	ワークシート
	4 よりよい遊び道具の条件をまとめる。 色がかわいい、値段が安い、安全、遊びが工夫できる、手づくり感 など	◇ グループで意見を出し合い、まとめてキーワードで発表する。 ◆ グループでの意見を参考にし、まとめてまとめる。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 自分の遊び道具を工夫してみよう。 </div>				
	5 遊び道具の工夫をする。	◇ 工夫のポイントを知らせ、自分なりに工夫させる。 ◆ 板書のキーワードを参考にし、工夫させる。	◎ 幼児の生活に役立つものの製作について課題をもち、自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。(工)	一枚ポートフォリオ
まとめ 7	6 学習のまとめをする。	◇ よりよい遊び道具を製作するためにもっと知りたいことなどについて記述させる。		
	7 宿題について知る。	◇本時⑨までに遊び道具を製作することを知らせる。		

9 本時の展開【本時⑤】

(1) 本時の目標

- ・ 幼児の心身の発達の概要について理解する。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 幼児の成長について調査したことをまとめ、発表することができる。(ウ①)
- ・ 幼児の心身の発達の概要を理解している。(エ①)

(3) 準備物 ワークシート, 調査資料, 記録用紙, 一枚ポートフォリオ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導入 3	1 前時を想起する。	◇ よりよい遊び道具を作るために知りたいことや知っておいた方がいいと思うことを紹介する。		
	2 本時の課題を知る。			
	本時の課題 : 幼児の成長について考えよう ～幼児の成長について調べてみよう～			
展開 42	3 学習方法や形態を知る。	◇ ジグソー学習について知らせる。	◎ 幼児の成長について調査したことをまとめ、発表することができる。(技)	観察 ワークシート
	4 幼児の成長についての、調査課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">身体の発育や運動の機能 言語, 情緒, 社会性</div>	◇ 調べてみたいことをあげさせ、分類して板書に整理する。 ◇ 板書の内容から課題を選び、設定する。		
	5 課題について調査グループごとに調査しまとめる。 ・教科書や資料を読む。 ・調査内容をまとめる。 ・グループ内で発表する。	◇ 教科書や配布資料をもとに、課題について調査させ、内容をまとめさせる。 ◆ 「まとめシート」を活用して、まとめさせる。		
	6 発表内容をまとめる。 ・調査グループ内で協議	◇ 発表時間などを想定して、発表の内容をまとめさせる。		
まとめ 5	7 学習のまとめをする。	◇ 幼児の成長についてまとめさせる。 ◆ 年齢順に成長の概要をまとめさせる。	◎ 幼児の心身の発達の概要を理解している。(知)	一枚ポートフォリオ

9 本時の展開【本時⑥】

(1) 本時の目標

- ・ 幼児の成長についてグループでまとめ、よりよい発表方法について考える。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 調査したことをまとめ、工夫して発表原稿を作成することができる。(ウ①)

(3) 準備物 ワークシート, 必要な資料, 原稿用紙, 一枚ポートフォリオ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導入 5	1 よりよい発表方法について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 絵を使う コンピュータを使う 比較する </div>	◇ よりよい発表方法について考え、発言させる。		
	2 本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 本時の課題： 幼児の成長について考えよう ～よりよい発表方法について工夫し準備しよう～ </div>			
展開 42	3 よりよい発表方法について協議する。	◇ グループで協議し、発表方法を工夫、決定させる。 ◆ 板書の工夫を参考に考えさせる。	◎ 調査したことをまとめ、工夫して発表原稿を作成することができる。(技)	作成原稿
	4 発表の準備をする。	◇ 発表に必要な原稿などを作成させる。 ◆ グループ内で役割を決めるなど、発表に向け協力して準備をさせる。		
まとめ 3	5 学習のまとめをする。	◇ 本時の学習について振り返り、一枚ポートフォリオに記入させる。		

9 本時の展開【本時⑦】

(1) 本時の目標

- ・ 幼児の成長について調べたことを発表し、幼児の心身の発達の概要について理解する。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 調査したことをまとめたり、工夫して発表したりすることができる。(ウ①)
- ・ 幼児の心身の発達の概要を理解している。(エ①)

(3) 準備物 ワークシート、0歳児・2歳児・5歳児の写真、一枚ポートフォリオ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導 入 7	1 前時を想起する。	◇ 発表原稿や発表に必要な準備物について確認させる。		
	2 本時の課題を知る。			
	本時の課題：幼児の成長について考えよう ～幼児の成長について、調べたことを発表しよう～			
展 開 35	3 幼児の成長について調べたことをグループ内で発表する。	◇ あらかじめ設定しておいた順に発表させる。時間を設定し、開始時と終了時に合図をする。	○ 調査したことをまとめたり、工夫して発表したりすることができる。 (技)	観察 一枚ポートフォリオ
	4 幼児の成長についてまとめ、発表する。	◇ メモを取りながら聴くように指示し、ワークシートにまとめさせる。 ◆ 調べグループで作成した原稿をもとに発表させる。	◎ 幼児の心身の発達の概要を理解している。 (知)	観察 ワークシート
	5 写真の幼児について、年齢を推測し理由とともに発表する。	◇ 3枚の写真をグループで観察し、発達段階と理由についてまとめさせる。 ◆ グループ内で意見交流させ、調べ学習の内容から類推させる。	○ 調査したことをまとめたり、工夫して発表したりすることができる。 (技)	観察 一枚ポートフォリオ
ま と め 8	5 学習のまとめをする。	◇ 成長や発達には個人差があることをおさえる。		

9 本時の展開【本時⑧】

(1) 本時の目標

- ・ 幼児の基本的な生活習慣の形成の重要性について理解する。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 基本的な生活習慣の形成の重要性について理解している。(エ①)
- ・ 幼児の生活に役立つものの製作について課題をもち、自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。(イ②)

(3) 準備物 ワークシート, 製作した作品, ビデオ (自作), イラストカード, 一枚ポートフォリオ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点 (◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導入 8	1 幼児を預かっているときの対応について考える。 楽しく遊んでいる途中で「おしっこに行きたい」と幼児に言われる場面をビデオで視聴する。	◇ 幼児にどう対応するか, 自由に発言させる。 ◇ 幼児期においては基本的な生活習慣の形成が重要な課題であることを知らせる。		
	2 本時の課題を知る。 本時の課題 : 幼児の生活習慣について考えよう ～幼児が生活習慣を身に付けていくためにはどんなことが必要だろうか～			
展開 32	3 生活の自立の基礎となる基本的な生活習慣について知る。	◇ 食事, 排泄, 睡眠, 着脱衣, 清潔などの基本的な生活習慣形成の概要について, イラストカードを活用させる。		
	4 幼児の生活習慣の形成について必要なことを考える。 ・ペアで考え, 意見をKJ法で整理する。 ・自分の意見をまとめ, ワークシートに整理する。	◇ 意見発表をさせ, 共通的な意見やキーワードを発見させる。 ◆ 板書のキーワードを活用して, 意見をまとめ, ワークシートに整理させる。	○ 基本的な生活習慣の形成の重要性について理解している。(知)	ワークシート
まとめ 10	5 遊び道具の工夫について考える。	◇ 製作した遊び道具について, 生活習慣の形成に役立つ工夫点を考えさせる。 ◆ 板書のキーワードから課題を発見させ, 工夫点を考えさせる。	◎ 幼児の生活に役立つものの製作について課題をもち, 自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。(工)	一枚ポートフォリオ

9 本時の展開【本時⑨】

(1) 本時の目標

- ・ 幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具について考える。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 遊び道具の製作ができる。(ウ②)
- ・ 幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具，遊び方について考え，工夫している。(イ①)

(3) 準備物 ワークシート，製作した遊び道具（※宿題），アドバイスカード，一枚ポートフォリオ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点（◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて）	評価規準	評価方法
導入 3	1 前時を想起する。	◇ 前時の学習についての感想を紹介する。		
	2 本時の課題を知る。			
	本時の課題： 幼児の生活に役立つ遊び道具を製作しよう ～幼児の心身の発達に応じた遊び道具を目指そう～			
展 開 42	3 遊び道具の発表をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 5px;">対象年齢 工夫した点 困っているところ など</div>	◇ 製作した遊び道具について一人ずつ発表させる。	○ 遊び道具の製作ができる。(技)	製作した遊び道具 (※宿題)
	友だちの遊び道具についてアドバイスしよう。			
	4 友だちの遊び道具についてアドバイスをする。	◇ アドバイスカードに，改善点や工夫点を記入し製作者に渡すよう指示する。 ◆ 前時調べ学習グループで協議して，改善点を見付けさせる。	◎ 幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具，遊び方について考え，工夫に向けてアドバイスしている。(工)	観察 アドバイスカード
自分の遊び道具を見直し，よりよく遊べるように工夫しよう。				
5	5 遊び道具の見直しをする。	◇ 友だちからのアドバイスカードを参考に，遊び道具の課題を見付け，改善点について考えさせる。 ◆ 友だちからのアドバイスカードの中から，課題や改善方法を選択させる。	◎ 幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具，遊び方について考え，工夫している。(工)	一枚ポートフォリオ
まとめ 5	6 改善方法について発表する。	◇ 具体的な改善方法について発表させる。 ◆ 遊び道具を見直してみでの感想を発表させる。		

9 本時の展開【本時⑩】

(1) 本時の目標

- ・ 子どもの発達を支える家族について考え、役割を理解する。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 子どもの発達を支える家族の役割について考えようとしている。(ア①)
- ・ 子どもの発達を支える家族の役割について理解している。(エ①)

(3) 準備物 ワークシート、幼児の顔写真、シナリオ1・2・3、新聞記事、一枚ポートフォリオ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導入 6	1 遊んでいて幼児がトラブルにあったとき誰が対応するか考える。	◇ 教科書P.154のマンガの続きを考えさせる。		
	2 本時の課題を知る。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 本時の課題：子どもと家族とのかかわりについて考えよう ～家族の一員としてロールプレイングしてみよう～ </div>				
展開 39	3 ロールプレイングする。 ・シナリオ 1 ・シナリオ 2 ・シナリオ 3	◇ 子どものトラブルに家族の一員として対応する場面についてペアでロールプレイングさせる。 ◆ ペアで台詞を相談し、ロールプレイングさせる。	○ 子どもの発達を支える家族の役割について考えようとしている。(関)	観察 ワークシート
	4 家族の役割について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">家族の役をした時、どんな気持ちだったかについて考えてみる。</div>	◇ それぞれのシナリオについて、子どもにかかわる家族の気持ちを考えさせる。 ◇ 家族には、子どもの保護、情緒の安定、社会化などの役割があることに気付かせる。		
	5 もう一度ロールプレイングする。	◆ ペアで台詞を相談し、ロールプレイングさせる。	○ 子どもの発達を支える家族の役割について考えようとしている。(関)	ワークシート
	6 ロールプレイングについて発表する。	◇ ロールプレイングの内容と、演技の理由を発表させる。		
まとめ 5	7 家族の役割についてまとめる。	◇ 家族の役割について自分なりの言葉でまとめさせる。 ◆ キーワードを活用してまとめさせる。	◎ 子どもの発達を支える家族の役割について理解している。(知)	一枚ポートフォリオ

9 本時の展開【本時⑩】

(1) 本時の目標

- ・ 幼児と自分とのかかわりについて考える。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 子どもが育つ環境としての家族や周囲の人々の役割について考えようとしている。(ア①)
- ・ 幼児の生活について関心を持ち、課題を見付けようとしている。(ア②)

(3) 準備物 ワークシート、幼児の観察用ビデオ(自作)、地域の人々へのインタビュービデオ(自作)、マップ作成用用紙、一枚ポートフォリオ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導 入 10	1 生徒が製作した遊び道具で遊んでいる幼児の様子を観察する。	◇ 生徒が製作した遊び道具で遊んでいる幼児の様子をビデオ視聴し、自己評価させる。		
	2 本時の課題を知る。			
	本時の課題： 幼児と自分とのかかわりについて考えよう ～「幼児を預かって」と頼まれたらどうするだろうか～			
展 開 32	3 「幼児を預かって」と頼まれたらどうするかについて考える。	◇ これまでの学習を振り返り、中学生としてどうするか、考えさせる。 ◇ できると思うこと、やってみたいと思うことなどできるだけたくさん記述させる。 ◆ これまでのワークシートを参考にして記述させる。	○ 子どもが育つ環境としての家族や周囲の人々の役割について考えようとしている。(関)	観察 ワークシート
	4 グループで意見交流する。 ・グループ内での意見交流 ・作成したマップの発表	◇ マッピングコミュニケーションを活用して、グループ内での意見交流をさせる。		
	5 子どもの発達を支えている環境について考える。	◇ 地域の人々や施設などについてのビデオを視聴させる。		
ま と め 8	6 学習のまとめをする。	◇ 「子どもの成長」の学習全体を振り返り、題材の目標達成について自己評価させるとともに、学習方法や授業についての感想を記述させる。 ◆ これまでのワークシートを参考にして記述させる。	◎ 幼児の生活について関心を持ち、課題を見付けようとしている。(関)	ワークシート